



STEALTH MODE ステルス枠

フルハイトドア®

施工手順書⑥-2

ヴェトロ(VETRO)

片開き戸

ステルス枠 施工手順書一覧

共通

※シリーズ専用以外の共通編の施工手順書は工事内容別で下記の①、②、③に分かれています。
 ※マルコシリーズの2・3枚引違い戸(上吊)、2枚引込み戸(上吊・連動)は共通編をご覧ください。
 ※本書の準耐火仕様とは、ご注文の際に当社の「準耐火仕様」を選択した場合に限ります。

①木工事

①-1. 木工事・標準仕様 / ①-2. 木工事・準耐火仕様

②クロス・塗り壁工事

③扉・金物の取付

③-1. 開き戸

③-2. 片引き戸(上吊)、ポケット戸(上吊)、2枚引違い戸(上吊)

③-3. 2・3枚引込み戸(上吊・連動)、3枚引違い戸(上吊・連動/非連動)

③-4. 片引き戸(床付レール)

シリーズ専用

※シリーズ専用の施工手順書(④～⑨)は木工事、クロス・塗り工事、扉・金物の取付が一式含まれます。

④クローゼット

④-1. 折れ戸 ④-2. 物入片開き戸、両開き戸、物入4枚・6枚開き戸

④-3. スライド片開き戸

⑤オートマチックドア

⑤-1. 片引き戸(上吊)

⑥ヴェトロ

⑥-1. アウトセット片引き戸(上吊) ⑥-2. 開き戸

⑦カエサル

⑦-1. スイングドア、サイドガラスユニット

⑧マルコ

⑧-1. 3枚引込み戸(上吊・非連動) ⑧-2. 2枚引分け戸、4枚引違い戸(上吊)

⑨フィット

⑨-1. スイングドア ⑨-2. 片引き戸(上吊) ⑨-3. 2枚引違い戸(上吊)

施工を担当される方へ

安全のために必ずお守りください



● 施工前にこの手順書をよく読み、正しく施工してください

- 枠・下地枠の取付は、水平・垂直・ねじれがないかを必ずご確認し、確実な固定を行ってください。
- 本製品の組み立てで付属ビスがある場合には、必ずそのビスを使用してください。
付属ビス以外で取り付けた場合、部材の脱落や枠のゆるみ等が発生する恐れがあります。



● ケガや事故防止のため、以下の事項を必ずお守りください

- 風の強い場所では開き戸が強く閉まるなどして手をはさむ恐れがありますので
扉を開け放しにしないようご注意ください。
- 運搬作業時は滑り止めの手袋を着用し、扉建て付け時には十分気をつけて行ってください。



● 施工前及び施工時の確認

- 本製品は屋内用ですので、屋外や水がかりする箇所には使用しないでください。
- 本製品は内装扉を用途とする商品です。他の用途として使用したり、本手順書と異なった施工をした場合の保障は当社では責任を負いかねます。
- 高温・高湿の環境条件では使用できません。
- 施工前に部材の数量・キズの有無をご確認ください。
施工後のキズについては当社では責任を負いかねます。
- 部材を保管する場合は湿気・直射日光を避け、十分な養生をしてください。
- 開口部または枠の寸法を測り、躯体または枠が正確に施工されているか、
ご用意の扉サイズが適切かどうかご確認願います。
- 施工時に電動ドライバーを使用する場合は、カラモミを防ぐため最後の締め付けは
必ず手締めにて行ってください。
- 扉の調整の際には、電動ドライバーは絶対に使用しないでください。
ビス類が破損し、調整できなくなることがあります。
- 扉や枠の表面に、長時間テープを貼らないでください。汚れ・破損・色ムラの原因になります。
また、突き板塗装ドアの場合、塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。

● 施工後の処理

- お施主様への引渡し前に、工事管理者が必ず点検を行い、不具合箇所を補修してください。
- 施工後はキズが付かないように養生してください。
このとき、表面にテープを直接貼らないでください。
また、突き板塗装ドアの塗装仕上げ面には絶対にテープを貼らないでください。
- 清掃の際は水を固く搾った布で汚れを落とした後、柔らかい布で乾拭きしてください。
また、汚れが落ちにくい場合は、薄めた中性洗剤で汚れを落とした後、
洗剤が残らないようによく拭き取ってください。
- 内装工事が終了するまでの間は、扉をはずして保管されることをお勧めします。

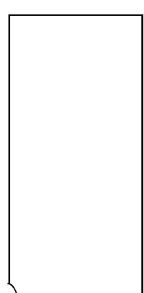
□片開き戸 VETRO専用

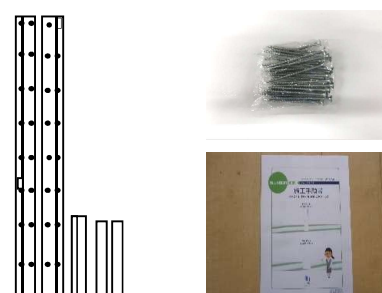
forステルス枠

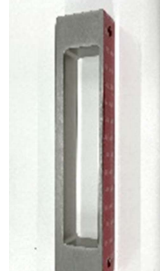
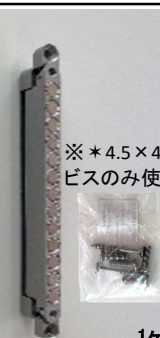
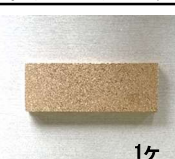
施工手順書2021/9作成

■ 製品及び同梱内容の確認

- 製品を開梱して、同梱品に間違いがないか確認をお願いします。

建具		
部材	数量	備考
扉 (ガラス)	1枚	強化ガラス8mm厚 フィルム貼り無し ガラスのため 取扱い注意
 必ず2人以上で 吊り込みしてください。 ※吊元側の下部に切欠き加工あり		

下地枠		
部材	数量	備考
縦枠下地	2本	
上枠下地	1本	下がり壁付の場合のみ同梱
開口定規	1本	下地枠内(狭)寸法用
	1本	下地枠内(広)寸法用
コースレット ビス75mm	28本	縦枠下地取付け用
施工手順書	1セット	
		

建具金物箱			
部材	数量	備考	
金物箱	10セットに付1箱		
セット毎に ビニール梱包 邸別段ボール箱			
ヒンジセット		ハンドル	ハンドル取付治具
 2ヶ1セット		 2ヶ1セット	 1ヶ  ガラスクリーナー 1ヶ
マグネットホルダー	マグネットプレート	プレート用接着剤	吊り込み用治具
 ※ *4.5×40 ビスのみ使用 1ヶ	 1ヶ	 1ヶ トルクレンチセット  1セット	 1ヶ
トルクレンチセット内訳			
・トルクレンチ本体 ・トルクレンチソケット3mm ・六角呼び3 ・六角呼び4 ・ヘキサロビュラレンチT25 			
クッション材		その他必要工具	
・電動ドライバー (φ3キリ・プラス) ・プラスドライバー			

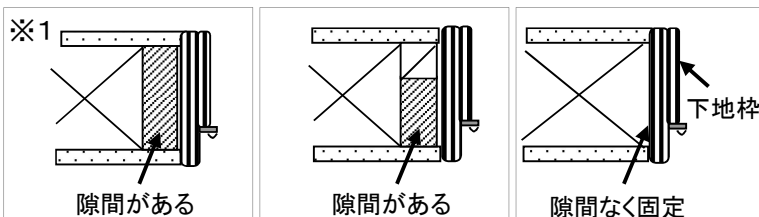
□片開き戸 VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

1 施工前の確認事項

- ① 下地枠を取り付ける前に、開口部の巾（図面：ROW寸法）と高さ（図面：床仕上～開口高さ）の確認をしてください。
（縦枠下地は床仕上げ面からの立ち上がりとなっているので注意してください）

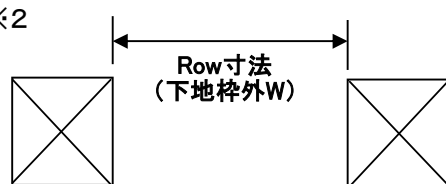


×

×

O

※2



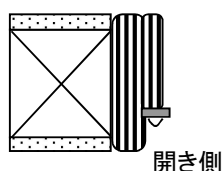
図面上のRow寸法（下地枠外W）の確認

注意

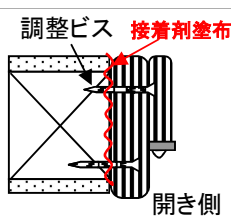
- ※1：下地枠は躯体（構造材）に取付けますので、下地枠の裏側部分には必ず木材を全面に入れておいてください。
※2：施工前のW寸法確認は、図面上のRow寸法（下地枠外W）を確認してください。
※開口部（柱・まぐさ等）の水平・垂直・前後の倒れ・ねじれ等がないか、水平器等で十分に確認してください。

2 縦枠下地の取付

- ① 縦枠下地を柱に固定します。
（下地断面の厚みが薄い方が開き側）枠の位置は壁厚の真ん中に置き、柱にあててレーザー等で立ちを見ながら、同梱されているビスにて枠の固定を行ってください。



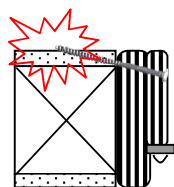
下穴を空ける



ビスと接着剤で枠を固定



ビスは枠より飛び出さないように固定、及び調整を行ってください。



【注意】

ビスが長い為、斜めに入るとビスが突き出る可能性がある為、
下穴をまっすぐに空けてから取付

注意

- ※縦枠下地は柱に直接取付けてください。2mmパッキンは入れないのをご確認ください。
※躯体がスタッドの場合は石膏ボードに直接、縦枠下地を取付けると調整ビスが利かないので、必ず間に木材（15mm以上）を入れてください。

□片開き戸 VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

3 幅木取付

- ① 幅木を接着剤にて、縦枠下地の欠き込み部分にはめ込むように取付けてください。(接着剤は酢ビ系をお奨めします)



接着剤全面塗布



下地の幅木欠き込み部分
(7×30)



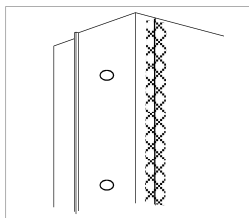
下地の欠き込み部分に
はめ込む様にと付け

注意

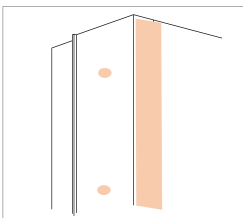
※出荷時には、シンプル幅木の欠き込み(7×30)がされています。30mm以上の幅木をご使用の場合は、現場にて高さ方向の切り欠きを行ってください。
(幅木7mm以上の対応は行っておりません)

4 クロス施工【袖壁納まりの場合】※塗り壁仕様はございません

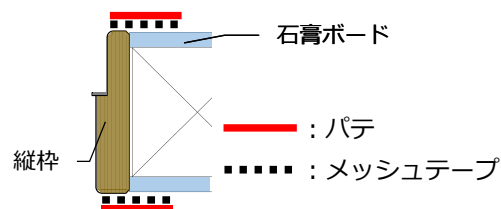
- ① 縦枠と石膏ボードのジョイント部にメッシュテープを貼り、パテ等の下地処理を行ってください。



ジョイント部をまたいで
メッシュテープを貼る

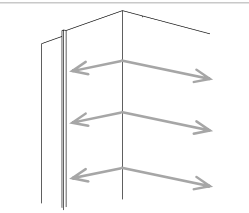


ビス穴、メッシュテープ
部、縦枠の木口面全体にパ
テを塗る(下塗り、上塗り)

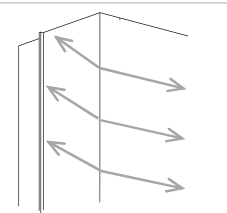


枠小口・石膏ボード接合部に

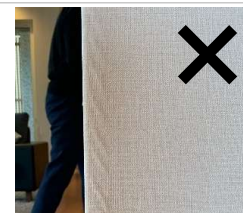
- ② 下地処理が完了した後でクロスを貼ってください。金物加工部もクロスを巻き込んで貼って下さい。



枠に巻き込む際、クロスは上下左右余裕
もったサイズでまっすぐ貼る



枠に巻き込む際、クロスを過度な力で斜めに引っ張り
ながら貼るとクロスよれの原因となります



注意

※メッシュテープ貼り→パテ下塗り→パテ上塗りを推奨します。
※縦枠の木口面全体にパテを塗ってください。
※隠し丁番の為、塗り壁仕様はできません。

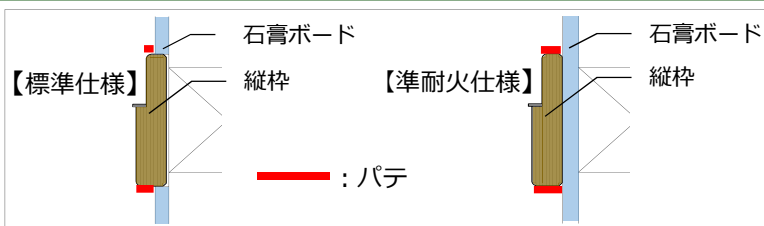
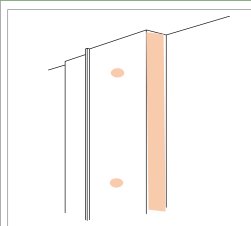
□片開き戸 VETRO専用

forステルス枠

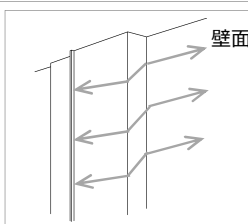
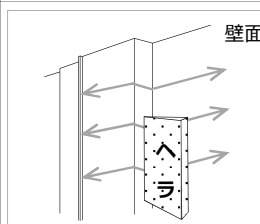
施工手順書2021/9作成

4' クロス施工【入り隅壁納まりの場合】※塗り壁仕様はございません

- ① 枠の入隅部は貼りづらく、クロスを貼る際にクロス面積が大きい壁面のクロスに引っ張られやすくなりますので注意が必要です。
縦枠の木口面にパテ等を塗り、クロスは上下左右余裕を持ったサイズで木口にヘラ等で壁面のクロスに引張られないようにまっすぐ貼って下さい。



ビス穴、縦枠の木口面全体にパテを塗る
(木口面の見附寸法が小さく、パテが塗りにくい箇所はコークボンドを塗る)
※但し、クロス厚が薄い場合はコークボンドで不陸が出ないようにご注意ください



枠の入隅部に貼る際、クロスは上下左右余裕をもったサイズで木口にヘラ等をあてながら壁面のクロスに引っ張られないようにまっすぐ貼る

枠の入隅部に貼る際、クロスを過度な力で斜めに引っ張りながら貼ると壁面のクロスに引っ張られ、クロスよれの原因となります

- 注意**
※メッシュテープ貼り→パテ下塗り→パテ上塗りを推奨します。
※縦枠の木口面全体にパテを塗ってください。
※隠し丁番の為、塗り壁仕様はございません。

5 マグネットホルダーの取付

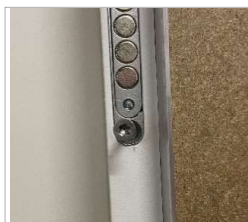
- ① クロスが乾いてから受け加工部にカッターで切り込みを入れ、マグネットホルダーを差し込みます。
下穴を開けた後に同梱のヘキサロピュラレンチT25を使い、同梱ビス(※4.5×40)で取付けます。
金物は別途金物箱にあります。



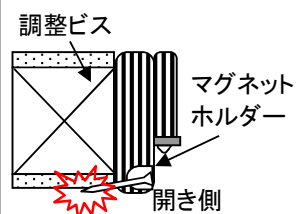
金物加工部分を
カッターで切り込み



クロスを巻き込み、金物
をはめ下穴φ3を開ける



同梱のヘキサロピュラレンチT25を使い、
同梱ビス(※4.5×40)で取付ける



【注意】
取付ビスが斜めに入ると枠を
突き破る可能性があるため、
予め下穴を空けてから、



斜めにビスが入らないように
下穴を空けてからビスを打つ

【注意】
正しい向きで取付ける

注意

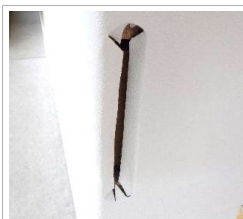
□片開き戸 VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

6 ヒンジの取付

- ① 枠の加工部にヒンジを取付けます。
加工部のクロスにカッターで切り込みを入れ、ヒンジを同梱ビス(4.5×30)で取付けます。



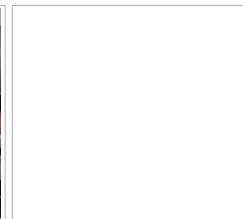
加工部にカッターで切り込みを入れる



クロスを巻き込みヒンジをはめ、下穴φ3を空ける



同梱ビス(4.5×30)でヒンジを取付ける



注意

※ビスが斜めに入らないように下穴を空けてから取付けてください。

7-1 扉の吊り込み ※必ず2人以上で吊り込みしてください

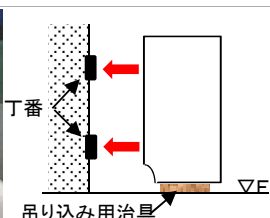
- ① 上下ヒンジを開いた状態にします。
同梱の吊り込み用治具を置き、ヒンジ側下部に切欠きができるようにガラスを立て、吊り込み用治具の上にガラスを置きます。
ガラスをスライドさせていき、ヒンジのブラケットにガラスを差し込みます。



上下ヒンジを開く



吊り込み用治具を引きガラスを乗せる



ガラスの切欠き面が吊元側下部になる



ガラスをスライドさせ、ヒンジに差し込む



ブラケットに対して斜めにガラスが入っている



ブラケットとガラスが平行に入っている

【注意】
ガラスはまっすぐ奥まで差し込む

注意

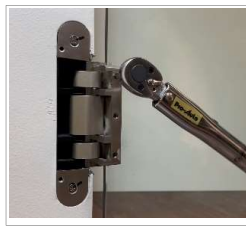
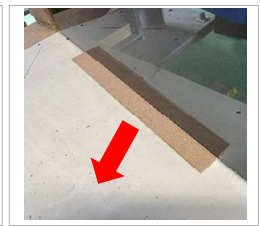
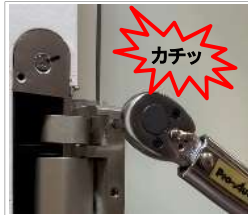
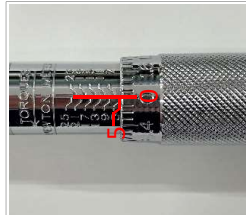
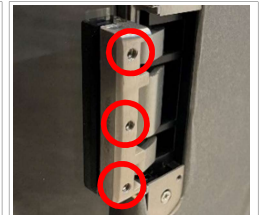
※ブラケットが平行にガラスを挟むように吊り込んでください。曲がっていると扉が脱落する恐れがあります。

□片開き戸 VETRO専用

forステルス枠

施工手順書2021/9作成

7-2 扉の吊り込み ※必ず2人以上で吊り込みしてください

① ブラケットのシールを剥がします。 同梱のトルクレンチを使用し5Nで締め込み吊り込み治具を抜きます。 トルクレンチの使用方法是下記QRコードからご確認ください。				
	ブラケットにしているシールを剥がす	手動で3ヶ所の六角を均等に締める	トルクレンチに3mmソケットを取付、5Nで締める	ガラスの下に引いた吊り込み用治具を抜く
↓詳しいトルクレンチ使用方法 	 左右回転切替レバー トルク値設定ねじ ロックネジ 右: 締め方向 5Nに設定	 カチッ		
	トルクレンチ設定	5Nで“カチッ”と音がる	【注意】 必ず5Nで締め込む	【注意】 均等の力で締める
注意	※必ずトルクレンチを使い5Nで締めてください。扉が脱落する恐れがあります。 ※必ず均等の力で締めて下さい。正常にガラスを挟むことができず扉が脱落する恐れがあります。 ※必ず5Nの力で締めてください。締め過ぎるとガラスが破損する恐れがあります。			

8 ハンドルの取付

① ガラスを同梱のアルコールシートで拭き取り、表面の埃や汚れを落としてください。 その後、同梱の厚紙を開き、取付ける高さに仮止めをします。				
	ガラスについている埃や汚れをシートで拭き取る	厚紙を広げ、金物受けの高さに合わせて固定する		
② ハンドル裏の赤い剥離紙を剥がし、厚紙に合わせてハンドルを取付けてください。 裏側のハンドルも表面に取付たハンドルに合わせて取付けてください。	 剥離紙を剥がす			
	ハンドル裏の赤い剥離紙を剥がす	厚紙に合わせて取付ける	裏面のハンドルを取付ける	
注意	※必ずガラスの表面を綺麗にしてから取付けてください。汚れや埃が残っていると接着されない恐れがあります。			

□片開き戸

forステルス枠

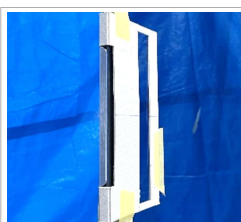
施工手順書2021/9作成

9 マグネットプレートの取付

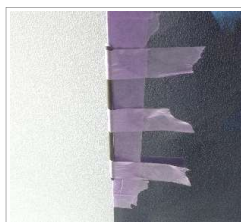
- ① ガラスを同梱のアルコールシートで拭き取り、表面の埃や汚れを落としてください。
建具金物箱に同梱の接着剤を塗ります。
マグネットプレートに厚紙に合わせて取付けてください。接着剤が乾くまで、マスキングテープ等で仮止めをしてください。



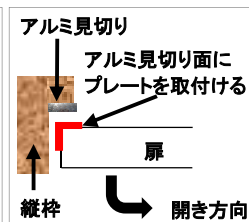
マグネットプレートに
接着剤を塗る



厚紙に合わせて取付ける

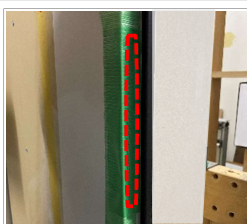


マスキングテープ等で
24時間止める



**【注意】
取付け向き注意**

- ② マグネットホルダーに養生をして、完全に扉が閉まらないようにしてください。
扉が完全に閉まってしまうと、マグネットプレートが磁石で剥がれてしまいます。



マグネットホルダーに
養生をする



扉が完全に閉まらないようにする

**【注意】
マグネットプレート
が接着される前に
扉を閉めると磁石
でプレートが取れ
てしまいます。**

注意

※必ずマグネットプレートを取付ける前にガラスを同梱のアルコールシートで拭いてください。接着強度が弱くなる可能性があります。
※冬季で乾燥している時期はマグネットプレートを貼る部分のガラスを少し湿らせてから接着してください。

10 クッション材の取付

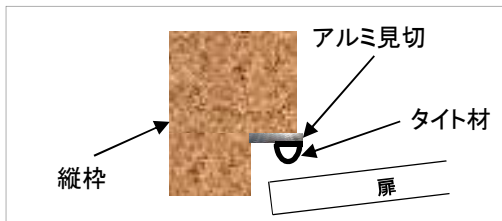
- ① クッション材の剥離紙を剥がし、アルミ見切り材に貼り付けてください。



剥離紙を少しずつ剥がす



クッション材を取付ける



アルミ見切り材の開口側端部に合わせて貼る

- ② クッション材を切って下さい。



クッション材を切る

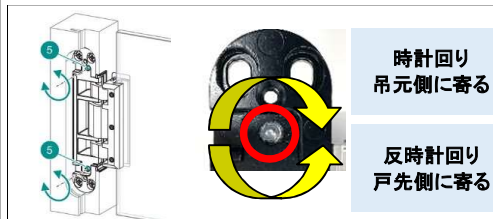
**【注意】
クッション材は分
割せずに、1本で
通して貼る**

注意

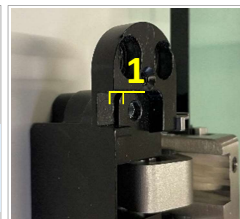
11 ヒンジ・マグネットフォルダーの調整

- ① 【ヒンジの調整】
ヒンジ部分を同梱の六角（呼び4）を使い左右調整をしてください。
調整範囲（+3mm-2mm）
戸先側方向+3mm
吊元側方向-2mm

【注意】
上下ヒンジ4箇所を均等に回しなが
ら調整して下さい。

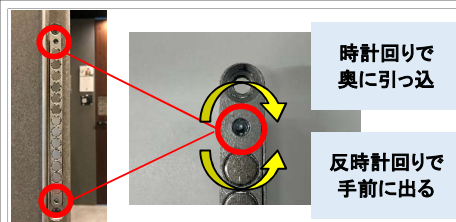


同梱の六角（呼び4）を使い、
左右調整をする



同梱ビス(4×10)で
カバープレートを取付け
る

- ② 【マグネットフォルダーの調整】
マグネットフォルダーの六角部分を同梱の六角（呼び4）で回し、調整してください。



同梱の六角（呼び4）を使い、
左右調整をする

【注意】
回し過ぎに注意し
てください。

注
意

12 別売の「床付戸当たり」取付時の注意点

- ① オプションの床付戸当たりを取り付ける場合は必ず**扉の中央より戸先側に取付けてください。**
扉の中央より吊元側には取り付けしないでください。吊元側に取付けると床付戸当たり、及びヒンジに悪影響を与え、**ガラス扉が脱落する恐れがあり危険**です。

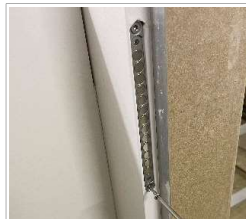
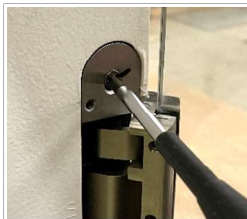


ガラス扉脱落の恐れがあり危険です

注
意

メンテナンスについて

- ① ネジの緩み等、異常がないか、定期的に点検し、増し締めしてください。
(お使い始めてから1カ月、6カ月、その後は1年毎を目安にしてください。)



ヒンジカバーを取り外して、
電動ドリルで増し締めをする。

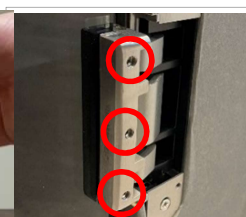
ヘキサロピュラレンチ
T25で増し締めする



5Nの設定で増し締め



六角(呼び3)で時計回し



【注意】
必ずガラスが奥ま
で入っていること
を確認する。

トルクレンチ3mmソケッ
トで増し締めする。

【トルクレンチが
無い場合】

上ヒンジから調整する

注
意

注
意